

事業評価シート

事務事業名	学力定着度調査	担当課名	教育総務課
総合計画の 主要施策名	「確かな学力」を身につけた子どもの育成	事業コード	4222

事業の目的	「確かな学力」を育成し、個性と創造力豊かな児童生徒を育成する。			
事業の内容	基礎学力の定着度調査、学習を計画的に進めるための客観的資料となる検査を行う。			
事業の対象	学力検査(国語・算数)・・・全小学校第1、2、3学年 知的発達検査・・・全小学校第2、5学年 全中学校第1学年			
事業費	年度・区分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
	金額	545 千円	519 千円	572 千円

事業の効果等	各小学校において第1、2、3学年に学力検査を実施し、児童の学習状況に応じた指導を行うことができた。また、各校において小学校第2、5学年及び中学校第1学年に知的発達検査を実施し、学習を計画的に進めるための客観的資料として活用した。
実績・成果等 (数値)	100%実施した。

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	町民の学校教育及び児童生徒の学力向上への期待は非常に大きい。本事業の実施により、各校において児童の学習到達度及び課題を分析し、個に応じた指導に取り組み、基礎学力の向上に成果を上げることができた。今後も基礎学力の定着を図り、児童生徒の発達に応じた指導のためにもこの事業を実施していきたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	外的な検査で子ども達に適度な緊張感を与えることが、切磋琢磨につながる。事業の実施内容も充実しており、評価を上位に変更する。
------	----------	--------	---